

委員提案一覧

○活力あるまちづくり

委 員	内 容
井上委員	<p>勤労者福祉と雇用の推進について</p> <p>(1)あらゆる機関、組織を使い、時期をかけて果敢に企業誘致に取り組むこと</p> <p>(2)ハローワーク、又は企業に地道に協力を求めて雇用の創出、提供を依頼する</p> <p>※景気の低迷と労働環境の厳しい中にあるが、夜明け前のため、やるべきことはやっておく。</p>
井上委員	<p>観光の振興について</p> <p>(1)津の観光ルートの設定とそれぞれの地に道の駅（特産品の販売、飲食の場）を創設して、NHK、三重TV等に協力を求め、観光地の取材、放映と情報の発信を積極的に依頼すること。</p> <p>(2)津市観光振興ビジョンと津観光協会との連携とそれぞれ機能はされているのか。</p> <p>※観光振興の本丸は藤堂高虎の大河ドラマの実現とそれに伴い津城を再興して路面電車を敷設して運行することにある。国、県に働きかけ、近鉄、三交に協力を求め、企業、オール市民に理解を求める。</p>
川見委員	<p>「観光資源の世代別分類による地域活性化」</p> <p>津市には津城をはじめとしたすばらしい潜在的な観光資源があるが、若者は現状として魅力を認識できていない。</p> <p>年齢層などで客層を細分化したPRが必要ではないか。</p> <p>ターゲットごとに分類することで、例えば「若者向け～体験プログラム」などの様々なPRが可能なのではないか。</p> <p>おもしろいイベントを市民から公募したりして、若者に行ってみたいと思わせることが必要ではないか。</p>
篠木委員	<p>「道の駅の整備促進」</p> <p>津市総合計画の中に、国道23号中勢バイパス津（河芸）工区に道の駅の整備が予定され、平成23年度には用地買収も完了しているが、整備に向けての取組みが進まない状況がある。</p> <p>農林水産物等の流通促進施設や地域情報発信拠点として、整備促進を図る必要がある。</p>

委員提案一覧

篠木委員	<p>「土地利用について」</p> <p>都市ゾーンに位置付けられた河芸地区は、国道23号周辺及び近鉄沿線を中心に都市化が進み、住宅団地や大型スーパーなどの商業地が形成されているが、国道沿いにも市街化調整区域が残っている。</p> <p>津市全域においても、都市ゾーンにおける都市機能集積をさらに進め、快適で利便性の高い空間の形成を図るため、土地利用区分の見直し等により、活力ある地域づくりに努める必要がある。</p>
西口委員	<p>昨今の獣害に悩まされている山間の農家は大変困って見えると思います。美杉など山間地に行きますと、農家の奥さんが自分の畑を天井を含めて五面の金網で囲った中で、野菜や果物を栽培して見えるのですが、その様子は、まるで逆の動物園を見ているようで、とても気の毒な光景です。</p> <p>猟友会に頼るだけでは、効果は限られるので、もう一つの方法として、罠の免許を取得して、'災害'を逆に、ジビエ料理の肉の収穫という'幸せ'に変えられないかと思えます。</p> <p>そこで問題になるのが、高額な罠免許取得費用とその更新費用、それに鹿や猪の精肉処理です。引退された精肉職人さんや一般の市民を会員にして、会費で費用をまかなって、配当はジビエ料理の材料で、そして、小さい精肉処理場でいいので、市に貸していただく。といった、何とか具体的に早期に実現できそうない案を皆さんに御議論いただけたら、と思えます。</p>
服部（勝）委員	<p>過疎化、高齢化が進む中で、地域の活力が低下していることから、地域の活性化のため、交流人口を増加させる施策等の検討について</p>
服部（勝）委員	<p>農作物が獣害を被ることにより、生産意欲の低下、後継者不足の問題につながっていることから、獣害対策の検討について</p>
濱野委員	<p>基本計画における施策分類に揃って御意見、検討、まとめをしてはどうか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 産業拠点の形成 2 農業、林業、水産業、工業、商業の振興 3 雇用の推進 4 道路、港湾の整備 5 観光の振興 6 その他

委員提案一覧

南野委員	<p>「企業家を応援するような土俵づくりについて」</p> <p>旧津市内で栄えた商店街（大門・新町通り）の地盤沈下が激しく、ゴーストタウンのようになっている。</p> <p>自治体による企業家への資金面以外の支援、例えば経営管理についての研修等が必要ではないか。</p>
吉岡委員	<p>市民全体の資源としての森林の整備・活用について</p> <p>市域の約60%が森林という地勢を前提として、津市の林業振興施策のテーマは「森林は市民の大切な資源（水を育む、土砂災害を防ぐ、二酸化炭素を吸収するなど）」と位置づけられており、また、三重県においても、森林の公益的機能と保全の重要性を踏まえ、「森林づくりに関する税」の検討が進行中ですが、森林を市民共通の資源と捉えたうえで、具体の施策及び施策実行に当たっての市民・企業・団体・行政等の役割について</p>
吉岡委員	<p>施政方針等の総合計画への反映による適時な事業展開について</p> <p>総合計画（基本構想、前期基本計画）が策定されて数年が経過し、この間、社会経済状況の変化、大規模災害の発生、国の政権交代など、相当激しい変化を経験し、また、新しい「施政方針」がスタートしているが、後期基本計画はこうした変化や方針を反映して、時代に合ったものとなるべきところで、特に「活力」施策展開は一刻の猶予もないことから、重点化など施策選択の議論を進め、適時な事業展開を進めることについて</p> <p>施策選択議論の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重点化、モデル化 ・ 短期成果追求 ・ チャレンジ政策 ・ 先行投資 ・ 合「施政方針」 ・ 基本の見直しまで触れる・・・